

カリキュラム

プログラム1 若手先進農業者が経営理念や成長ビジョンを語る

紀北地域

7/23(木)

農業で、世界をロックする

株式会社ロックファーム京都
代表取締役
村田 翔一 氏



講演内容

- 九条ネギの周年栽培で参入し、就農1年目で売上6,500万円を叩き出した急成長の軌跡
- 白いとうもろこし「京都舞コーン」、黒枝豆「麻ろ美(まろみ)」、いちご「あざといちご」——商品名・パッケージ・ストーリーまで自社でデザインする理由とは
- 都市隣接の好立地を武器に収穫体験やファンイベントを展開、農産物を「売る」から「体験させる」へ価値化する発想
- 「農業をカッコよく」を掲げ、若者が憧れる「産地の学校」をつくる新しい産地経営のリアル

講師プロフィール

前職の消防士時代から農業生産に関わり、退職後の2018年に九条ねぎ生産へ本格参入。2019年には株式会社ロックファーム京都を設立し、さらに地元の若手農家とともに販売会社「株式会社SAMURAI FARMERS」を立ち上げるなど、生産・販売の両面から事業を展開してきた。

九条ねぎの生産拡大に加え、人材育成、組織づくり、ブランディングを一貫して推進し、グループ全体で売上約6~7億円規模へと急成長。地域の若手農業者と連携しながら、京都を代表する農業法人の一つとして存在感を高めている。

紀南地域

7/24(金)

シトラス産業の成長と発展に向けた挑戦

株式会社シトラスプラス
代表取締役
上野 勉 氏



講演内容

- 極早生みかん「上野早生」を生み出した、柑橘農家3代目の挑戦の物語
- 果樹では前例の少ないオランダ式的环境制御をハウス栽培に導入、勘や経験から「科学(アグロノミスト)」へ転換した発想とは
- 光合成や植物生理を意識した栽培管理で収量増を実現、農研機構とも連携する技術力の裏側
- 1年を通して国産柑橘を届ける通年供給体制を構築、「柑橘のイノベーション」が描く未来像

講師プロフィール

橘農家の3代目。高校卒業後、農研機構での研修を経て2010年に就農。2017年に経営を継承し、2019年に法人化を果たす。施設栽培において、「統合環境制御技術」を早期に導入し、植物生理に基づいた科学的なアプローチで飛躍的な収量アップを実現した。就農当時に約1,900万円だった売上を、わずか数年で1億円規模へと成長させている。また、スーパー等との直接取引による新たなサプライチェーンの構築や、従業員が主体的に育つ組織づくりを推進するなど次世代農業経営のトップランナー。

プログラム2 「今日から始められる」農業経営を発展させる改善のポイント

講師

アグリコネクト株式会社
大野一成

内容

- 経営理念とは何か、なぜ大切なのかを知る
- 経営計画づくりの土台となる、自分の経営を分析する方法を身につける
- 人材育成の必要性を学ぶ

コーディネーター



アグリコネクト株式会社

農業経営専門のコンサルティング企業として、食農業ビジネスの開発と、農業経営体の経営改善を多方面から支援。全国の先進農業経営体とのネットワークを多数有している。経営人材育成事業において毎年200名を超える農業経営者の経営計画作成・計画推進をサポートしている。



シニアコンサルタント 大野 一成

農事組合法人による循環型営農モデルづくりに従事し、農業に関わる。2014年よりアグリコネクトに参画し、全国の農業経営塾運営・講師を務める。運営を担当した経営塾の修了生は1,000名を超える。農業経営塾における研修講師としては「理念づくり」「中長期経営計画策定」「事業収支策定」「人材育成」「経営分析」「マーケティング」など幅広く対応。



マネージャー 齊藤 奈菜

若手中小農家(売上5,000万~1億程度)の経営発展コンサルティングを専門に取り組み、各社を売上2~5倍に伸ばす。財務戦略、新事業立ち上げ(集出荷・選果施設、加工場事業への展開)、販路開拓・営業代行等を担う。2025年より農業法人・人材育成ユニットマネージャーとして、地域を担う農業人材の育成、輩出業務を中心に従事。

お申込みお待ちしております!